

令和8年第7回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日

令和8年5月21日（木）

II 会議時間

開会時間：14時00分

閉会時間：15時00分

III 出席委員

教育長 多田 一也

教育長職務代理者 小野 文子

委員 横山 純子

委員 板倉 宏

委員 前田 和郎

IV 欠席委員

なし

V 説明のため出席した職員

教育次長 琵琶 学

教育総務課長 清輔 一智

学校教育課長 濱浪 雅登

社会教育課長 久富 真吾

学校再編推進課長 森 真志

就学前教育課長 尾崎 正道

（書記）遠藤 真由

VI 会議内容

1 開 会

2 会議録の承認

（1）令和8年第4回教育委員会会議（令和8年3月25日）の議決事項等について

教育長の報告：なし

会議録の承認：3件（令和8年第1回、第2回、第3回）

議 事：議案第7号 玉野市教育委員会公印規則の一部改正について 他6件

協 議：玉野市立保育所管理規則及び玉野市認定こども園に関する条例施行規則の一部改正について 他1件

報 告：たまのっ子育成支援委員会委員の委嘱終了について 他1件

請願・陳情：陳情書「休校の鉾立小学校に校長を配置し、本年度卒業する児童は鉾立小学校卒業とすること」

そ の 他：令和8年4月／5月 行事予定

（承認）

（2）令和8年第5回教育委員会会議（令和8年4月3日）の議決事項等について

教育長の報告：新年度の教育委員会における課題と本市教育の推進について

会議録の承認：なし

議 事：なし

協 議：玉野市競技スポーツ振興事業費（激励金）支給事務取扱要項の一部改正について 他 2 件

報 告：なし

そ の 他：なし

（承認）

3 教育長の報告

なし

4 議 事

（1）議案第 15 号 玉野市立玉野商工高等学校在り方検討会議設置要綱の制定について

（会議は非公開で実施しているが、会議録公開時点において、内容が既に公表されているため、会議録を公開する。）

（学校教育課長） 資料により説明

玉野市立玉野商工高等学校を取り巻く現状や課題を踏まえ、これからの高校教育における商工高校の役割や教育の質を担保する適正規模について検討し、今後の在り方について協議を行うための組織として玉野市立玉野商工高等学校在り方検討会議を設置するにあたり、要綱を制定するものである。

（2）議案第 16 号 玉野市奨学生選考委員の委嘱について

（社会教育課長） 資料により説明

（3）議案第 17 号 玉野市立図書館協議会委員の任命について

（社会教育課長） 資料により説明

（原案どおり可決）

5 協 議

（1）令和 8 年度 教育行政重点施策（最終稿）

（教育総務課長） 資料により説明

（2）令和 8 年度 教育委員による学校等視察の実施について（案）

（教育総務課長） 資料により説明

（3）宇野・玉地区における新たな認定こども園整備事業予定者の募集について

（会議は非公開で実施しているが、会議録公開時点において、内容が既に公表されているため、会議録を公開する。）

（就学前教育課長） 資料により説明

幼保一体化等将来計画（改正版）に基づき、宇野・玉地区の３園の統合を目指し取組を進めている。統合の方針としては、民設・民営により新たに幼保連携型認定こども園を整備することで、これまでも協議・報告しているところであるが、今後行っていく整備事業予定者の募集にあたり、その方向性について協議をお願いするものである。

まずは施設と園児数の状況として、令和２年度には３園で１３９名いた園児が年々減少を続け、今年度４月１日時点においては７７名になっている。

建設地については、これまで説明してきたとおり、宇野幼稚園の敷地を予定している。これは令和６年度に実施したサウンディング調査の結果であり、候補地のうち一番評価が高かったため、この場所を選定しているものである。

運営主体としては、幼保連携型でこども園を設置することが可能な民間団体ということで、社会福祉法人および学校法人としている。開園目標時期について、これまで令和１１年４月と説明してきたが、当初の予定より募集の時期が１年程度後ろ倒しになったことや、中東情勢の影響で物資や機材の仕入れが以前に比べて難しくなっている状況もあり、開園目標時期を１年後ろ倒しにし、令和１２年４月１日としたいと考えている。

施設規模については、定員１００名を考えている。現状、３園の園児数は１００名を下回る状況になっているが、サウンディング調査では定員は１００名が妥当との意見もあり、新たな施設整備による利用者の増加を想定し、ある程度余裕を持たせたいと考えている。

定員の内訳としては、教育利用１５名、保育利用８５名で考えている。こちらサウンディング調査から教育利用数は運営面でのポイントとなるため、一定数確保が必要ということもあり、以前示した１０名から１５名に増としている。現状の教育利用数は、宇野幼稚園の１２名と玉認定こども園５名の計１７名であるため、現状に近い定員設定だと考えている。

次に、募集スケジュール案であるが、９月下旬の事業予定者の決定に向け、７月下旬から８月下旬に募集をかけ、開園目標時期を令和１２年４月１日とすることについて、宇野幼稚園、宇野保育園、玉認定こども園の３園を利用されている保護者にお知らせしていこうと考えている。

お知らせ方法は文書の配布を考えており、保護者に今後の予定と変更点をお知らせして、募集を進めていきたい。

（小野委員） 玉野市教育行政重点施策の中の、８ページの取組内容、教育支援体制整備事業の、概要として就学前教育のことで、事業に予算付けしているものは、公立も私立も含まれているか。

- (就学前教育課長) 公立のものである。
- (小野委員) 幼・保・こども園の中で、五領域や幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿については、必ず保護者に可視化し、このような方針で取り組んでいるということを先生から保護者に伝え、そしてそのようなものが、現場での表現活動や呼びかけに関わっているということを言ってほしいと思っている。
- しかし、玉野市の場合、私立は1箇所だけであるため、その私立のカラーがどうしても強くなるということがあると思う。そのため、玉野市の教育として、そのような部分を何らかの機会に伝えていただきたい。
- (就学前教育課長) 先ほど、教育支援体制整備事業に対して、公立だけを対象にしていると申し上げたが、具体的に言うと、若手職員に対する指導等については、市の職員に対してという意味で公立を対象にしている。
- 一方、講師を呼んで、全体的に研修会をするといった場合には、公立に限らず、私立の先生たちも是非参加してほしいというような形で呼びかけをしているため、その中のテーマにおいては、五領域や不適切な保育のことなど、その時々テーマに応じて研修を広く図っている。
- (横山委員) 宇野幼稚園の一部の学年の保護者から、開園時期と宇野保育園に移動する時期について要望書が出ていると思うが、開園時期が12年になることでクリアとなったと考えてよいのか。
- (就学前教育課長) そう考えられる。
- (横山委員) 場合によっては、工期を1年でという話もあったが、やはり当初の2年という工期になるのか。
- (就学前教育課長) 1年のやり方も検討したが、元々サウンディング調査の中でも2年間は余裕が欲しいという事業者からの声もあり、さらにその時に比べて中東情勢の影響で物資が入りにくい状況もあるため、この状況で1年にするというのはかなり厳しいものがあると考え、2年を想定して案内している。
- (横山委員) 令和12年開園とすることにより、色々な方のニーズの調整ができたかと理解してよいのか。
- (就学前教育課長) 令和12年に至るまで期間が確保できたので、今後も調整する機会が増えると思っている。

6 報 告

(1) 玉野中央中学校及び玉野東中学校の校章について

(会議は非公開で実施しているが、会議録公開時点において、内容が既に公表されているため、会議録を公開する。)

(学校再編推進課長) 資料により説明

(横山委員) 市外の方の応募が多いように思ったが、決定したデザイン案は、名

- 前は公表されるのか。
- (学校再編推進課長) 例えばペンネームで公表してほしいなど色々な状況があると思うので、本人と連絡をとってみての対応となる。
- (横山委員) それぞれの地域の特性が反映された案であり、県外の方も特性を捉えた案を出してくれたので、どなたが描いたのか興味があった。描かれた方の了承を得て、ある程度は分かる場合もあるし、分からない場合もあるということか。
- (学校再編推進課長) どういうコンセプトなのかもあわせて募集しているので、それは公表できる。
- (横山委員) 玉野中央中の方は海、港など非常に分かりやすいが、山田地区や胸上地区など、どういうコンセプトがあったのか、そういうものも合わせて提示されていれば、もっと興味深く見られたと思うので、開示の仕方を検討いただきたい。

(2) 玉野市内高等学校における令和8年度入学者選抜実施状況について

- (学校教育課長) 資料により説明
- (多田教育長) 令和8年度の市内4校への進学率が50%を下回ったことは非常に大きな問題である。これまで50%台後半を維持していたものが急落しており、私立高校の無償化などの影響も考えられるが、この結果には驚いている。
- (小野委員) 小学校から中学校への進学段階において、市内から市外の中学校へ進学する者はどれくらいいるのか。
- (学校教育課長) 手元に即答できる資料がないため、現時点では回答できない。
- (小野委員) 市外の中学校への進学者数が増加している印象がある。そのような生徒は高校進学時にも市内に戻ってこない可能性が高いため、現状の割合を把握したい。
- (多田教育長) 以前の総務文教委員会における給食費の議論の際、特別支援を含めて50人程度、あるいは3学年で40人程度が市外へ出ているという数値が出たと記憶しているが、確認したい。
- (板倉委員) 市内の高校への進学率が50%を切ったことは課題である。実際に生徒たちが市外のどの高校に進学したのかについて、把握することは可能なのか。
- (学校教育課長) 市外の公立・私立高校への進学、あるいは就職といった進路区分であれば、追跡して把握することは可能である。
- (板倉委員) 可能であれば、実際に生徒がどのような進路を選択しているのか、その実態を把握したい。

(3) 玉野市立図書館及び玉野市立中央公民館指定管理者公募について

(会議は非公開で実施しているが、会議録公開時点において、内容が既に公表されているため、会議録を公開する。)

(社会教育課長) 資料により説明

(4) 令和9年玉野市二十歳の式について

(会議は非公開で実施しているが、会議録公開時点において、内容が既に公表されているため、会議録を公開する。)

(社会教育課長) 資料により説明

これまでは主催者側として市長と教育長のみが出席し、教育委員への案内は行っていなかった。しかし、本式典の主催者としてぜひ当日出席し、二十歳を迎えた若者をともに祝っていただきたい。11月頃に案内を送付する予定である。なお、式典は昨年同様、12時から13時まで記念式典と「はたちの集い」を開催する。

7 その他

(1) 令和8年6月／7月行事予定

(教育総務課長) 資料により説明

8 閉 会

次回、教育委員会は令和8年6月25日(木)14:00から開催するので参集願う。以上で、令和8年第7回教育委員会を閉会する。

会議録調整者	書記	遠藤 真由
--------	----	-------

会議録署名委員	教育長	多田 一也
---------	-----	-------

教育長職務代理人	小野 文子
----------	-------